

会議の概要

1. 会議の名称

和文名： 国際高分子加工学会 第22回年次大会
英文名： 22nd Annual Meeting of The Polymer Processing Society
略称： PPS-22

2. 主催

PPS-22 組織委員会 (PPS - 22 Conference Organizing Committee)

3. 共催

社団法人プラスチック成形加工学会 [The Japan Society of Polymer Processing]
社団法人日本レオロジー学会 (The Society of Rheology, Japan)
山形大学 (Yamagata University)

4. 協賛

(社)化学工学会、型技術協会、(社)強化プラスチック協会、(社)高分子学会、SPE
日本支部、(社)精密工学会、日本接着学会、(社)繊維学会、石油化学工業協会、(社)
日本機械学会、(社)日本合成樹脂技術協会、(社)日本ゴム協会、(社)日本材料学
会、(社)日本塑性加工学会、日本複合材料学会、日本プラスチック機械工業会、複合
材料界面科学研究会、マテリアルライフ学会

(五十音順)

5. 後援

山形県、山形市、山形コンベンションビューロー

6. 開催時期

平成18年(2006年)7月2日(日)～6日(木) 5日間

7. 開催場所

ホテルメトロポリタン山形
Tel023-628-1111(代)
〒990-0039 山形市香澄町1-1-1
<http://www.metro-yamagata.co.jp/>

8. 会議の性格と目的

(1) 目的

国際高分子加工学会の目的は、高分子加工の分野に携わる全世界の技術者及び科学者に討論と情報交換の場を提供することによって、高分子加工における科学の理解と技術革新を育成しようとするものである。取り扱う範囲は、高分子材料のモノマー状態から製品に至るまでのあらゆる工程における成形及び加工に関連した全ての分野である。

(2) 沿革

国際高分子加工学会は、1985年3月28日～29日に、米国オハイオ州アクロン市で設立された。設立大会には、世界各国の産業界、大学から200人を越える専門家が参加し、新たな学会の設立目的に心から賛意を表明した。1986年4月の第2回大会は、300人以上の参加のもとに、カナダのモントリオールで開催された。国際高分子加工学会はさらに発展し続け、ドイツのシュツガルト市での第3回大会、アメリカのオーランド市の第4回大会第4回大会では約450人が参加、また第5回大会の京都には、アジア、ヨーロッパ、アメリカから600名以上が出席した。世界各国からの参加者の拡大に伴って、PPSはアジア、アメリカ、ヨーロッパの各国で開催される年次大会に加え、新たに各地域での大会を開催することとなり、さらなる成長を遂げることとなった。年1回開催の年次大会は、その後ヨーロッパ、アメリカ、アジアの各大陸で順次行われてきた。2003年第19回大会はオーストラリアのメルボルン、2004年6月第20回大会はアメリカのアクロン、第21回はドイツのライプチヒ、第22回は日本の山形で開催される予定である。

(3) 活動

例年の年次大会に加えて、本学会活動は地域的な大会の開催、International Polymer Processingのジャーナル発行、そして教育セミナーの後援も行っている。本学会の参加資格は、この分野における全ての研究者、そしてこの学会が自信の仕事上の発展を促進すると考える全ての個人に対して開かれている。会員の特典は、本学会誌の無料配布と国際会議への割引参加が含まれる。2006年度の年会費は80ドルである。

(4) 日本開催の経緯と意義

本国際学会の開催地は、米、欧、アジアの各地域を順に回る方式となっている。日本での開催は、1989年PPS-5京都大会、1998年横浜に次いで3度目である。今回日本での再度の開催を引き受けるに当たり、交通の利便性も良く、観光資源も豊かな山形市が開催都市としてもふさわしく、また、適切な会場を持っているため、開催地として決定した。